

## 第 111 回関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA)

### CXI Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2017年10月14日（土） 14:00 - 16:00

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1401 教室

担当：柿原武史

GIDE(2015)『スペイン語学習のめやす』を利用して所要時間 20 分の教案を作る “Este es mi país.”

テーマ 12：日本とスペイン語圏の国々（『スペイン語学習のめやす』 pp.62-63, pp.127-128）

教案の目標：スペイン語初級学習者がさまざまな国や町について話したり書いたりできるようになる。

（対人モード・提示モードを中心に）

\* Fecha y hora: sábado, 14 de octubre de 2017, de 14:00 a 16:00

\* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, UMEDA CAMPUS, Aula 1401

\* Encargado: Takeshi KAKIHARA

\* “Elaboración de unidades didácticas de aproximadamente 20 minutos utilizando

“Un modelo de contenidos para un modelo de actuación”(GIDE 2015):

Unidad didáctica que dura 20 minutos que se enfoca en “contenidos” y gramática

Tema 12: Japón y los países hispanohablantes (“Un modelo de contenidos”: pp.62-63, pp.127-128)

“Este es mi país”. Para hacer una descripción sencilla de diferentes países y ciudades.

\*\*\*\*\*

1. 今日考えたいこと：これからの時代に本当に必要な外国語教育におけるテーマは何か。

背景：AI、常時接続の高速インターネット環境、Cloud、データベースの利用などにより機械翻訳が  
実用的レベルに達するのは時間の問題。

→ 大学や高校で外国語を学ぶ意義は？

単位のため、受験のため、就職のため、資格取得のため、仕方なく？

外国語教育の存在意義を意識させられた様々な事例

事例① 電車の中で、google 翻訳で訳した英語や日本語訳で宿題を済ませている学生の存在。

事例② 道を聞く、道案内をすることなど必要なくなったモバイル機器の進化を実感した出張。

事例③ 個人情報保護やPC への行き過ぎた対応で萎縮する教育現場。

## それでも必要！外国語教育

生き残るための2つの道

①語学のプロを育成する：従来通り、言語の仕組みを理解できるようにフルコースを提要。

②多様な言語文化に親しむ：言語の面白さ、言語を学ぶ方法を伝え、異文化に興味を持たせる。

…②が主流であり、ずっと変わらず、共通カリキュラムなどがあり変えにくかった。→どうするか？

これまで取られてきた対処法

- (1) コミュニカティブな感じのダイアログを用いる。
- (2) コミュニカティブな感じの活動をする。
- (3) 文法訳読で、扱う文法事項の内容を減らす。
  - (1)の問題点：会話表現に偏る。教科書の当該文法事項を使った人工的な文になりがち。
  - (2)の問題点：会話の内容が大学生の知的レベル似合わないものになりがち。応用が利かない。
  - (3)の問題点：時間がかかる割に中途半端な結果に。結局活用覚えて終わりになりがち。

## 2. 今日の提案

(1)ダイアログに応用できるモノログで、(2)ある程度高度な内容を扱い、(3)文法事項に縛られず、講読とネット検索という活動を通して学ぶ、作文、音読、暗唱をおこなうための教材

\*\*\*\*\*

## 3. やってみよう (教案)

- (1) 課題文を音読しよう。
- (2) グループで、辞書を使わずに意味を考えてみよう。(語彙・表現リストも参考にして)
- (3) わからなかった語の意味を分担して調べて、日本語訳を作ろう。
- (4) (1)～(3)を7分かけてやった後、同時通訳風に発表してみよう。(①、②、…で区切って) (2～3分)
- (5) 日本についてネットで調べ、課題文と同レベルの内容の日本を紹介する文を日本語で作ろう。
- (6) 課題文の表現(特に下線を引いた表現)をできるだけ使って、(5)の日本語文をスペイン語にしよう。(ネットを使って構いません。丸写しはいけません。意味がわからない表現は使ってはいけません。) 今日、日本の代わりにフランス、ドイツ、ブラジルについてやってみましょう。

### (1) 課題文

- ①¿Dónde está España? España está situada en el suroeste de Europa.
- ②Este país ocupa la mayor parte de la Península Ibérica y está formado por dos archipiélagos: el archipiélago de las Islas Canarias y el de las Islas Baleares.
- ③Al oeste está Portugal, al norte están Francia y Andorra y al sur está Marruecos.
- ④Este país tiene una superficie de 505 370 (quinientos cinco mil trescientos setenta) km<sup>2</sup> (kilómetros cuadrados) y tiene una población aproximada de 46 468 000 (cuarenta y seis millones cuatrocientos sesenta y ocho mil) habitantes.
- ⑤En España hay 17 Comunidades Autónomas. La capital de España es Madrid.

### (2), (3) 日本語訳

- ①
- ②
- ③
- ④

⑤

\*語彙・表現リスト\*

está situado en～ ～に位置する

(国名によって está situado en...になる。主に-a で終わっていない国名: 例) Japón está situado en..., Brasil está situado en..., El Reino Unido está situado en...)

suroeste 南西 (参考: norte 北、 sur 南、 este 東、 oeste 西、

noreste/nordeste 北東、 sudeste/sureste 南東、 noroeste 北西)

este país の este は「この国」の「この」

ocupa (←ocupar: 占める)、 Península Ibérica イベリア半島、 está formado por～ ～から成っている、 archipiélago 列島、 las Islas Canarias カナリア諸島、

(el de) las Islas Baleares バレアレス諸島 (の列島)、 oeste 西、 noreste 北東、 sur 南、 Comunidades Autónomas 自治州 (参考: provincias 県)、 la capital 首都、 una superficie 面積、 una población 人口、 habitantes 住民

(5) ( ) を紹介する文 (日本語バージョン)

(6) ( ) を紹介する文 (スペイン語バージョン)

課題文の参考資料

Reyna Arenas-Costanzo, Presentación sobre España

(<https://es.slideshare.net/amparosalom/presentacin-sobre-espaa-11797814>)

Wikipedia, España (<https://es.wikipedia.org/wiki/Espa%C3%B1a>)

Wikipedia, Geografía de España

([https://es.wikipedia.org/wiki/Geograf%C3%ADa\\_de\\_Espa%C3%B1a](https://es.wikipedia.org/wiki/Geograf%C3%ADa_de_Espa%C3%B1a)) を参考に作成